

【別紙2】



岩手県立野外活動センター

ひろたハマラインパーク

Hirota Hamaline Park

令和6年度 要覧





1	運営方針	1
2	沿革	1
3	使用案内	2
4	施設使用料	3
5	活動プログラム	4
6	事業一覧	6
7	施設概要	7
8	アクセス	9

1 運営方針

(1)運営の基本方針

- ・恵まれた自然環境の中で、各種の野外活動、スポーツ及び共同宿泊生活などを行い県民の健康で明るく豊かな生きがいのある人生を創造する。
- ・研修における多様な体験を通じて、規律・協調・友愛・奉仕の精神を養い、主体的で人間性豊かな青少年の育成を図る。

(2)運営の重点

- 施設利用の拡充
(多くの県民にとって利用しやすい施設の実現を図ること)
- 施設環境の整備・充実
(安全で利便性の高い施設環境の実現を図ること)
- 主催事業の充実
(現代社会における今日的な課題に対応した主催事業を展開すること)
- 研修プログラムの充実
(地域の特性等を踏まえたうえで、教育的な価値の高い研修プログラムの提供に努めること)

2 沿革

岩手県立高田松原野外活動センター	
平成 4年 4月	開所式
平成 23年 3月	東日本大震災津波により被災、全壊
岩手県立野外活動センター	
令和 元年 7月	用地造成等工事着工
令和 元年 10月	建築工事着工
令和 3年 3月	災害復旧工事完了
令和 3年 4月	一部施設供用開始 (遊具広場)
令和 3年 5月	一部施設供用開始 (屋外運動施設)
令和 3年 7月	全施設供用開始
	開所式

3 使用案内

(1) 使用できる方

具体的な活動計画をもつ団体及びグループであれば、おおむね5名以上から使用できます。未成年者の団体が使用する場合は、成人の引率が必要です。

【使用団体例】

- 学校 ● 部活動 ● P T A 団体 ● 子ども会
- スポーツ少年団 ● クラブ ● サークル ● 青年会
- 婦人会 ● 老人クラブ ● 会社 ● 家族 など…

(2) 使用の申し込み

STEP 1



問い合わせ・予約

使用予定日に施設が使用可能かどうか、電話または来所でご確認下さい。仮予約は受け付けておりません。団体名や住所、氏名、電話番号、参加者数、活動の概要等をお聞きします。

STEP 2



申請書類を記入

ご予約後、各種申請書類をご予約後、各種申請書類をホームページからダウンロードしてご記入下さい。野外活動を行う場合は、必ず来所し合同事前研修会に参加、または「事前打ち合わせ」を行って下さい。

STEP 3



申請書類を提出

使用の1ヶ月前までに各種申請書類をご提出下さい。(郵送・FAX・メール・来所) なお、日帰りで体育施設のみを使用する場合は、当日窓口にて申請書の記入をして下さい。

(3) 予約可能な期間

宿泊使用	6ヶ月前～1ヶ月前	
日帰り使用	3ヶ月前～1ヶ月前	
体育施設の 日帰り使用	9:00～17:00	当日申請可
	6:00～9:00	3ヶ月前～1ヶ月前
	17:00～21:00	
出前講座	3ヶ月前～1ヶ月前	

(4) 休所日

- 毎週月曜日
- 12月28日～1月4日

(臨時開所する場合がありますので、ホームページまたは電話にてご確認下さい。)

4 施設使用料

施設名と区分		単 位	小・中学生	高校生・学生 勤労青少年	一 般
運動広場	貸切(全面)	1時間	650円	980円	1,310円
	区分(半面)	1時間	340円	490円	660円
テニスコート 1面		1時間	350円	510円	680円
体育館	貸切(全面)	1時間	760円	1,150円	1,520円
	区分(半面)	1時間	390円	570円	760円
キャンプ場		テント1日1張	200円	290円	380円
	シャワー	1回	100円		
宿泊室		1人1泊	370円	530円	720円

- 「勤労青少年」とは、25歳未満で、学生以外の方です。
- 「運動広場」「テニスコート」「体育館」の使用料金は、利用人数に関係ありません。
- 使用時間には、準備及び原状回復までの時間も含まれます。
- 「体育館」を研修やアマチュアスポーツ以外に使用したり、入場料を徴収した催し物等に使用したりする場合は、別料金となります。詳細はお問い合わせください。
- 宿泊室を使用する場合、使用料のほかにシーツクリーニング代 250円をいただきます。
- 幼児にかかる使用料金は、無料です。
- 使用料金の免除については、事前にご相談ください。
- インボイス発行希望の場合は、事前にご連絡ください。

その他の料金

以下については、別途料金がかかります。

詳しくはホームページで「料金表」をご覧ください。お問い合わせ下さい。

- 炊飯用具
- 各種スポーツ用具
- 放送設備
- 食事代
- 電気料（体育館、テニスコート）
- 創作活動等
- 薪代
- シーツ等の洗濯代



5 活動プログラム

(1) 野外活動 (キャンプ場周辺)

1	野外炊事	野外の炊事場で、カレーライスや焼きそばなどを、仲間と協力して調理する
2	キャンプファイヤー (ペンライトの集い)	キャンプファイヤーの炎やペンライトの光を囲み親睦を深める
3	火おこし体験	火おこしの道具を使って、自分の力で火をおこす
4	ネイチャーゲーム	自然や動植物に関わる様々なゲームを五感を使って楽しみながら、自然への興味関心を高める
5	ウォークラリー	40分・60分・90分のいずれかのコースを、クイズに答えながら歩き、ゴールを目指す
6	テント設営	仲間と協力してテントを組み立て、宿泊し、狭い空間での生活で友情や絆を育む

(2) 野外活動 (水辺)

1	いかだ体験	いかだを組み立て、実際に乗艇してみる
2	サンドクラフト	砂浜の砂で、思い思いに造形遊びを楽しむ
3	磯遊び(水生生物調査)	ヤドカリやカニ、小魚など磯の生き物を観察する
4	トレッキング	みちのく潮風トレイルのコースを使い、海を眺めながら歩く
5	海釣り体験	防波堤での釣りを楽しむ

(3) スポーツ・ゲーム

1	館内ビンゴ	館内で、海の生物のシールを探し、ビンゴで点数を競うゲーム
2	各種スポーツ(屋外)	軟式野球・ソフトボール・サッカー・ラグビー・陸上・テニス・ソフトテニス等
3	各種スポーツ(屋内)	バレーボール・バスケットボール・卓球・ハンドボール・フットサル・バドミントン等
4	ニュースポーツ(屋外)	グラウンドゴルフ・ペタンク・ディスクゴルフ・モルック等
5	ニュースポーツ(屋内)	シャフルボード・カローリング・キンボール・ボッチャ等

(4) 創作活動

1	焼き板工作	杉板を焦がし、焼き目をつけ、看板などを作る
2	ジェルキャンドル	グラスに砂や貝がらを入れ、ジェルを流し込んでキャンドルを作る
3	フォトフレーム	流木や貝がらなどを使ってフォトフレームを作る
4	竹とんぼ	小刀を使って竹を削ったり曲げたりして竹とんぼを作る
5	七宝焼	銅の素地にガラス質の釉薬(ゆうやく)を盛り、焼成してキーホルダーを作る
6	ぐにゃ凧	凧づくりのキットを使い、簡単にでき、よくあがる凧を作る
7	缶バッジ	自分で描いたイラストや、文字などでオリジナル缶バッジを作る

(5) 復興・防災教育

1	避難所運営ゲーム (HUG)	カードを使ったゲームを通して避難所の開設や運営について考える
2	防災ウォッチング	広田町内をめぐり、広田半島の過去の自然災害や防災について学ぶ
3	避難所開設体験	段ボールベッドなどを体験し、非常持ち出し袋や非常食の内容を知る
4	周辺施設との連携	東日本大震災津波伝承館、陸前高田市内語り部ガイド、震災遺構見学、大船渡市内語り部ガイド、三陸鉄道震災学習列車、漁業体験等



6 事業一覧

事業名	日付	対象	事業の概要
野活トレッキング	①4/27(土) ②2/16(日)	対 象：大人 定 員：各回 15 名程度	◎魅力ある三陸のトレッキングルートを歩き、趣味の幅を広げ余暇の充実と健康増進を図る。
合同事前 研修会	①5/8(水) ②5/9(木) ③7/9(火)	対 象：各種学校、団体の引率者 定 員：各回 20 名程度	◎各種学校団体の宿泊研修を効果的に実施するための知識・技術の習得を図るとともに、利用団体間の計画調整を行う。
オトナキャンプ	6/1(土) ～ 2(日)	対 象：一般 定 員：15 名	◎野外活動をする機会の少ない成人を対象に、自然と触れ合い、日常生活とはなれた生活経験の場を提供することで、野外活動の楽しさを再発見する機会とする。
SUP 体験会	①6/8(土) ②7/13(土)	対 象：①小学生以上～大人 ②小学 4 年生以上～大人 定 員：各回 20 名	◎SUPを通して、広く海洋性アクティビティの普及を図る。また、施設周辺の環境を活かした海洋性プログラムを体験する。
野活キッズ 夏	7/20(土) ～ 21(日)	対 象：小学 3～6 年生 定 員：30 名程度	◎小学生が季節に応じた体験活動を行い、仲間とのふれあいを深めながら新しい人間関係の構築や集団としての深まりを目指す。また、自然に興味・関心をもち、進んで自然の中での活動を楽しもうとする意欲を高める。
ボランティア スタッフ 養成講座	7/20(土) ～ 21(日)	対 象：高校生～大学生 定 員：15 名程度	◎ボランティア活動の意義、児童生徒との接し方、救急救命法などを学ぶとともに、実際に子ども達の活動支援にあたることを通して、ボランティアスタッフとしての資質の向上を図る。
ドラマチック 海遊塾	7/28(日) ～ 31(水)	対 象：小学 5 年生～中学生 定 員：30 名	◎海を中心とした活動を通して、私たちが住む岩手県の自然の素晴らしさを再発見する。また、初めて集う仲間たちと 4 日間共に生活を送ることで、協力することの大切さや仲間を思いやる気持ちを育み、岩手県の将来を担う子どもたちの成長の一助とする。
震災・防災学習 現地研修会	①8/6(火) ②8/7(水)	対 象：各種学校の復興防災担当 指導者（教員） 定 員：20 名程度	◎震災・防災学習プログラムを紹介する現地研修会を実施し、校外学習・修学旅行等での利用を一層促進することにより、学校教育と連携した震災伝承、防災文化の醸成を図る。
ファミリーキャンプ in 広田（初級編）	8/24(土) ～ 25(日)	対 象：小学生とその家族 定 員：10 家族 30 名程度	◎親子での様々な自然体験を通して、広田の自然のすばらしさ、体験活動の楽しさを体感し、家族の絆を深める。
ファミリーキャンプ in 広田（防災編）	9/28(土) ～ 29(日)	対 象：小学生とその家族 定 員：10 家族 30 名程度	◎親子で自然や防災に関する様々な体験を通して、体験活動の楽しさを体感するとともに親子で災害時の行動について考える機会とする
親子海釣り 教室	10/5(土) ～ 6(日)	対 象：小学 3 年生以上と その家族 定 員：9 家族 19 名程度	◎初心者でも安心して釣りを楽しむことをテーマに親子で海釣りを行う。事業を通して親子の絆を深めるとともに、海での安全やマナーについても学ぶ機会とする。
スポーツ教室 in ハマラインパーク	①10/26(土) ②11/2(土) ③1/25(土)	対 象：小学生～中学生 定 員：延べ 200 名	◎トップアスリートや元プロの選手から指導を受けることにより、技術面の向上を図る。また、生徒・児童に夢や希望をもち、今後の競技への取り組み方や生涯にわたり競技に係わり、楽しもうとする意識の向上を図る。
野活クラフト 教室	12/14(土) 午前、午後の 2 回開催	対 象：小学生とその保護者 定 員：各回 8 家族 16 名	◎親子共同で季節の飾りの創作活動を行うことにより、相互の理解と関係を深め、行事や文化への関心や理解を深める。
野活キッズ 冬	2/1(土) ～ 2(日)	対 象：小学 3～6 年生 定 員：20 名	◎小学生が季節に応じた体験活動を行い、仲間とのふれあいを深めながら新しい人間関係の構築や集団としての深まりを目指す。また、自然に興味・関心をもち、進んで自然の中での活動を楽しもうとする意欲を高める。

7 施設概要

運動広場

400mトラック・直線9レーン・トラック8レーン
サッカーフィールド(105m×68m)ラグビー兼用
軟式野球場2面、走幅跳・走高跳・砲丸投げ

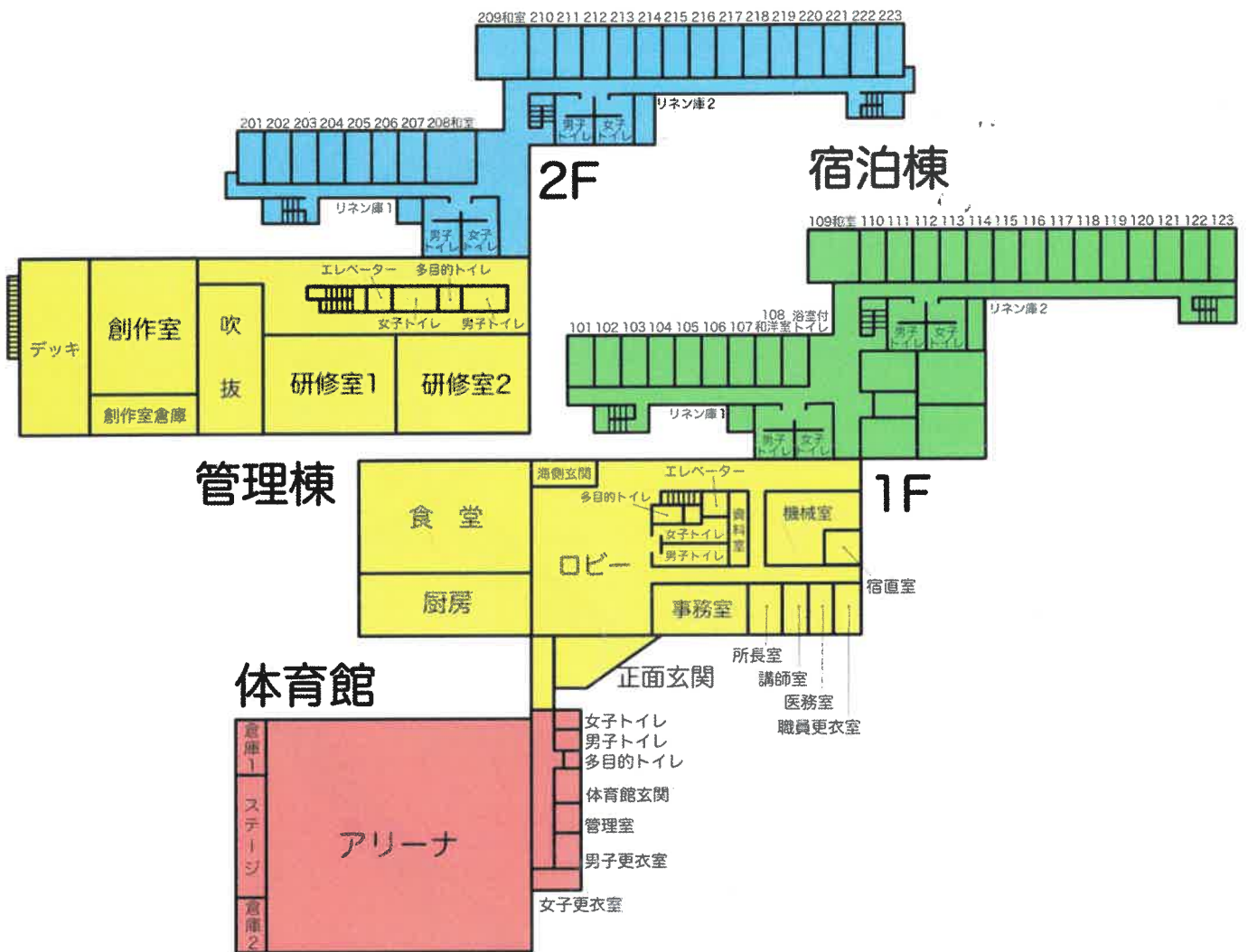
キャンプ場

テントサイト×2
かまど10基を備えたトイレ・シャワー棟×2
ファイヤーサークル×2

テニスコート

砂入り人工芝8面
硬式、軟式に対応
夜間照明付き





	定員	室数
宿泊室	4名	42室
和室	10名	3室
和洋室	2名	1室

食堂	200席
研修室1・2	各100名
創作室	120名
バス定員	44名



8 アクセス



交通案内

三陸自動車道	長部 IC から車で約 20 分
	陸前高田 IC から車で約 20 分
	通岡 IC から車で約 15 分
三陸鉄道	三陸鉄道 盛駅 から車で約 30 分
大船渡線 BRT	小友駅 から約 3.7km

宿泊研修などを行う学校の団体または、宿泊を伴う 10 人以上の団体は、
 野外活動センターの送迎バスを利用できる場合があります。

1 時間以内での運行となります。

ご希望の場合は、予約申込時にお問い合わせ下さい。





シンボルマークについて

本施設で、元気いっぱい楽しく過ごしていただきたいという思いを込めてデザインされました。広田町の「H」を利用者の姿に見立て、運動広場と海を意匠に取り入れています。

キャラクターについて

キャラクター「はまピー」は「ひろた」の文字、カモメ、ワカメをモチーフにしています。



施設愛称ひろたハマラインパークについて

浜の町・広田から望む太平洋の海岸線（浜のライン）と、気仙語の「はまらいん」（集まろう、仲間になろうの意）を合わせ、広田での活動を通して公園（パーク）のように広くみんなが親しみやすい施設になればとの願いが込められた愛称です。

岩手県立野外活動センター

〒029-2208 岩手県陸前高田市広田町字大久保 124-1

TEL 0192-22-9800

FAX 0192-22-9810

MAIL hamaline@sposhin.echna.ne.jp



公式HPはこちらから